（款）20衛生費　　（項）10清掃費　　（目）10じん芥処理費

◎減量化・資源化の経費

笛田リサイクルセンター管理運営事業　【　笛田リサイクルセンター　】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境：環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象　市民等

意図　資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。

効果　ごみの排出抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。

【事業の内容】

(1)　笛田リサイクルセンター運営事業

・笛田リサイクルセンターの運営管理を行った。

・廃棄物の減量化、資源化に関する啓発事業を実施した。

(2)　笛田リサイクルセンター維持管理事業

・笛田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行った。

【事業費】　（単位：千円）

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
152,434	151,083	149,482		1,601

主な支出内訳

・笛田リサイクルセンター運営事業

再生利用施設用消耗品費	300
再生利用施設啓発事業委託料	4,000
運転・保守管理等業務委託料	23,247
資源物選別処理等業務委託料	63,000
自動ドア保守点検等委託料	216

・笛田リサイクルセンター維持管理事業

資源物収集コンテナ等消耗品費	3,894
電気料	7,528
水道料	1,833
都市ガス料	4,584
施設内設備維持修繕料	21,403
消防設備定期点検手数料	420
警備業務委託料	625
清掃業務委託料	2,390
空気調和設備保守点検委託料	2,289
選別設備保守点検委託料	3,990
自動倉庫保守点検委託料	839
脱臭集塵設備保守点検委託料	2,380
敷地内植栽管理業務等委託料	2,052

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名　称	■サービス部門 □支　援　部　門	環境-26　笛田リサイクルセンター管理運営事業	
事務事業単　　位	ザイムスコード及び個別事業名	573 施設運営事業	
		893 施設維持管理事業	
主管課	笛田リサイクルセンター	関連課	資源循環課
分野名	生活環境		
目標 （目標値）	リサイクルセンターの効率的な運転と維持管理 資源ごみの適正な処理と資源循環型の形成に向けた3R啓発活動の推進		

人口等のデータ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備　考
	人　　口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日
	世　帯　数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯	
運営資源状　　況	決算値	149,482千円	148,873千円	157,645千円	
	（国　・　県）				
	（負担金等）	42,446千円	42,128千円	33,740千円	
	（一般財源）	107,036千円	106,745千円	123,905千円	
	人員配置数	3.1人	3.1人	4.1人	
	人 件 費	28,741千円	28,899千円	37,845千円	
	協　働　の　パートナー	NPO法人鎌倉リサイクル推進会議	NPO法人鎌倉リサイクル推進会議	NPO法人鎌倉リサイクル推進会議	
事務事業運営経費	総事業費	178,223千円	177,772千円	195,490千円	
	市民1人当りの経費	1,010円	1,011円	1,117円	
	対象者1人当りの経費				

20年度事務事業の変更点（新規・廃止・縮小した個別事業）/事業仕分けの視点による妥当性の評価

個別事業名	変更額（千円）	事業の変更点・変更理由	妥当性※

※妥当性の評価
① 必要性なし
② 民間
③ 国・県
④ 現行どおり(鎌倉市)

指　標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度（25年度）
啓発事業の開催回数（イベント回数）	◎	目標値	177回	177回	177回	177回	177回
		実績値	182回	177回			
指　標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度（25年度）
電気使用量の削減	◎	目標値	380,000kwh	380,000kwh	380,000kwh	380,000kwh	380,000kwh
		実績値	383,370kwh	377,688kwh			
指　標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度（25年度）
水道使用量の削減	◎	目標値	5,000㎥	5,000㎥	5,000㎥	5,000㎥	5,000㎥
		実績値	4,517㎥	3,909㎥			
指　標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度（　年度）
		目標値					
		実績値					

評価　◎：目標を達成　○：目標に向かって前進している　△：横ばい　×：後退している

ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

団体名									

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	（20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか） 施設稼動後11年を経過し、設備などに多少の経年劣化が認められる。
	創意・工夫・課題等の改善点20年度の成果	（課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか） 修繕箇所の優先順序を決め適切な管理を図った。
	未解決の課題・問題点	（20年度事務事業の取組において対応（解決）できなかったものはどのようなことですか） なし
	今後の方針（対応・改善）	（上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応（改善）していきますか） 今後施設の経年劣化の進行に応じて修繕費の増加が予想されるため、修繕計画を作成し効率的な維持管理を進めていく。

一次評価（課長評価）

今後の方向性	A:充実又は拡大　C:統合又は縮小　E:事業完了 B:現状のまま継続　D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	施設の適切な維持管理を図り、安全かつ効率的な業務遂行を図る。今後も現在の運営体制(運転保守管理委託、選別処理の委託、NPOへのリサイクル啓発事業委託)を維持し、事業を継続する。		
担当課長氏名：	笛田リサイクルセンター所長　原山　博		

二次評価（部長評価）

今後の方向性	A:充実又は拡大　C:統合又は縮小　E:事業完了 B:現状のまま継続　D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	施設の適切な維持管理を図るとともに、資源循環型社会の形成に向けた啓発事業を推進します。		
担当部名	環境部	部長名	勝山　洋